



## 第140回通常会員総会を開催

## 新しい時代切り開く

日本商工会議所は3月19日、第140回通常会員総会をハイブリッド形式で開催し、全国各地商工会議所から会頭・副会頭ら約1000人（オンライン含む）が出席した。総会の冒頭にあいさつした小林健会頭は、「私たちは今、まさに歴史的な転換点に立っていると感じている」と指摘。国際情勢の不確実性が一段と高まり、各国の政策、地政学リスクなどが日本経済にも大きな影響を与えることが予想される中、「商工会議所と各企業は、確固たる座標軸を持ち、さまざまなシナリオを想定しながら、新しい時代を切り開いていくことが求められる」と主張した。

ビデオメッセージであいさつした石破茂首相は、「成長型経済の実現に向けた機運が高ま

り、官民の連携が実を結んできている。この勢いを幅広い中小企業・小規模事業者の賃上げにつなげていきたい」と強調。全ての自治体に対し重点支援地方交付金6千億円の活用を強く働き掛けるほか、「下請代金法」「下請振興法」改正法案の早期成立、省力化投資・デジタル投資のさらなる促進などに取り組み、「所得と経済全体の生産性向上を図っていけるよう、政府として最大限の努力を進めていく」との方針を示した。



総会であいさつする小林会頭

## 日商・日中経協・経団連合同訪中団

## 過去最大規模230人が参加

日本商工会議所は2月16～19日、日中経済協会、日本経済団体連合会と合同で訪中団を派遣した。訪中団には、日商の小林健会頭、日中経協の進藤孝生会長、経団連の十倉雅和会長をはじめ、過去最大規模の総勢約230人が参加。新たな日中経済協力やビジネス環境改善に向け、何立峰副総理や王文涛商務部長など中国政府幹部らと意見交換を行った。

合同訪中団は17日、人民大会堂で何副総理と会談。日商の小林会頭は、「日中両国は一衣帯水の隣国であり、経済的にも不可分。分断よりも協調に軸足を置いた経済交流が必要」と述べ、食肉や水産物など日本産食品の輸入再開による機運醸成に期待を示した。また、中国日本商會が進出日本企業の抱えるビジネス環境の課題を取りまとめた白書について触れ、

①在中国日本人の安全確保②国内の消費刺激策の継続③黒鉛やアンチモンなどの輸出規制緩和——の3点について要望した。

何副総理は、過去最大規模の訪中団に歓迎の意を示すとともに、第三国市場における新エネルギー分野の新たな発展機会の開拓について、日本企業の協力に期待を表明。日本産食品の輸入規制については、ALPS処理水に係る海域モニタリング結果に基づき、中国の消費者の不安を払拭することが重要との認識を示した。



中国・何副総理（右）と握手する小林会頭



# feel NIPPON 春2025

## 入賞59商品を選定

日本商工会議所は2月12～14日、東京ビッグサイトで地域資源や伝統の技を生かした特産品などを集めた共同展示商談会「feel NIPPON 春2025」を開催した。今回は、国内最大級ギフト商品見本市「第99回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春2025」、食品の専門見本市「第37回グルメショー春2025」と同時開催で、全国から25商工会議所が出展した。

同事業は、各地商工会議所、地域事業者などが開発した特産品や観光商品などの販路開拓・拡大を支援することを目的に2008年度から実施している。参加商工会議所は、紋別（北海道）、新庄（山形県）、糸魚川、十日町（以上新潟県）、下諏訪、塩尻（以上長野県）、小山、佐野（以上栃木県）、所沢（埼玉県）、船橋、佐原（以上千葉県）、富士吉田（山梨県）、土岐（岐阜県）、豊田（愛知県）、桑名（三重県）、長浜（滋賀県）、尼崎、宝塚（以上兵庫県）、奈良（奈良県）、岡山、総社（以上岡山県）、高松（香川県）、新居浜（愛媛県）、直方（福岡県）、沖縄（沖縄県）。地域に根差した商工会議所だからこそ

紹介できる、こだわりの「食」「旅」「技」の逸品を首都圏のバイヤーらに売り込んだ。

期間中の商談件数は663件。会期中の成約は86件で、継続案件も232件に上った。出展者からは、「商工会議所としてまとまって出展することで、多くのバイヤーに足を運んでもらうことができた」「バイヤーからの反応が良く、商品の認知度向上や販路拡大に期待が持てる商談会だった」などの声が寄せられている。



多くのバイヤーが訪れた商工会議所ブース

### 日本商工会議所発行の旬刊紙・月刊誌のご案内

## 会議所ニュース

日本商工会議所が月3回発行する新聞。日商や全国各地の商工会議所の政策提言や事業活動をはじめ、ビジネスに役立つ情報が満載です。



購読申し込み、  
広告出稿のご案内  
はこちら



月3回発行（1日、11日、21日）  
1部187円 年間購読料4,400円（送料・税込）

## 月刊石垣

日本商工会議所発行の月刊ビジネス情報誌。経営や地域活性化のヒントになる好事例を紹介する特集や各界で活躍する著名人の素顔に触れる「あの人を訪ねたい」など、厳選の企画・連載が目白押しです。



購読申し込み、  
広告出稿のご案内  
はこちら



毎月10日発行  
1部605円 年間購読料5,700円（送料・税込）



日商 ASSIST Biz



### お問い合わせ先

三原商工会議所

所在地：広島県三原市皆実4-8-1

電話：0848-62-6155 FAX：0848-62-5900

商工会議所は、地域の商工業者の応援団です。